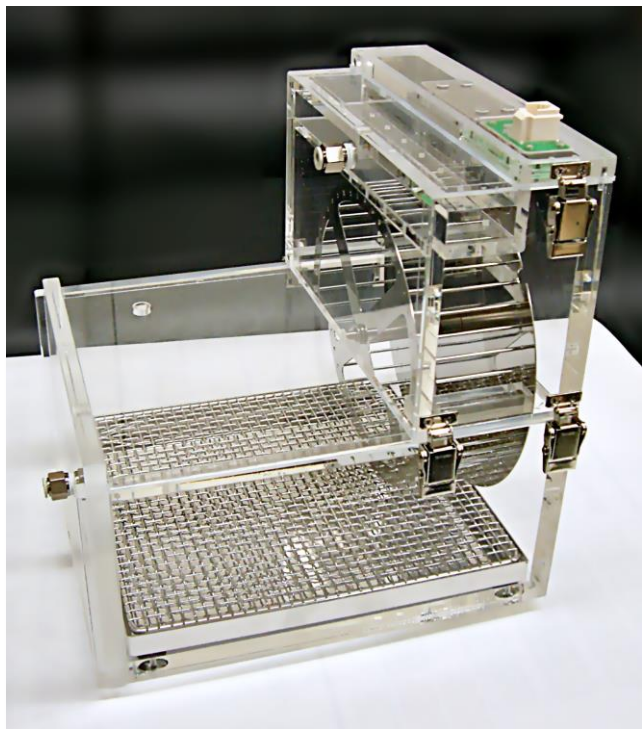


マウス用回転カゴ付代謝計測チャンバー



MCH-AW202210 (マウス用)

マウスを対象とした回転カゴ付きのエネルギー代謝量計測用分析チャンバーです。

回転ケージの回転数はパルス式カウンタデータとして制御インターフェース AWC-2000IFを介してARCO-2000小動物用エネルギー代謝測定システムへ転送することができますので、エネルギー消費動態と共に自発運動計測データを同一次元で収集します。

ステンレス製糞尿トレイとフラットフェイス床網が付属しています。

ARCO-2000システムからプログラム制御により毎日決められた時刻に回転ケージをロック、ロック解除することができますので、運動時間をコントロールすることが可能です。

ARCO2000システムからの設定で、累積回転数が設定値に達すると回転ケージにロックを掛けて回転を停止させることができますので、運動の上限を制御することが可能です。

本インターフェースは1台で8台の分析チャンバーからの回転数データ収集と回転ケージロック制御を行うことができます。

本インターフェースは、弊社の自発運動量センサーAS-10のデータ収集インターフェースとしても使用可能です。



AWC-2000IF
回転かご制御インターフェース



AS-10
赤外線式自発運動量センサー

* 製品改良のため、外観・仕様は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい

動物用エネルギー代謝測定システム

ARCO-2000-RAT

- マウス・ラット系小動物から綿羊・牛馬などの中大動物まで測定が可能
- 最大32ライン(ガスサンプラー2基)のマルチチャンバー方式を採用

基本システム

マウス・ラット系の小動物から牛・馬などの大型動物まで様々な動物のエネルギー代謝測定に対応します。

陰圧チャンバー方式による無拘束測定が基本となります。小動物系ではガスサンプラー2台を接続することで最大32ラインの計測チャンバーの換気制御を独立に行うことができ、32検体を最小10分間隔で計測することが可能です。トレッドミルや回転ケージなどの運動負荷装置、活動量計測システム、摂餌量計測システムなど、関連システムと連動した総エネルギー収支の測定が可能となります。大型動物においてはフード法による測定という手法の選択もあります。

薬理・薬効試験、食品・栄養素効能試験、飼料消化試験への応用が可能です。

$^{13}\text{CO}_2$ / $^{12}\text{CO}_2$ 安定同位体比分析機能を加えることも可能です。



【小動物用16ライン代謝測定】

システム構成図



* 製品改良のため、外観・仕様は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい

製造・販売元

生体ガス分析のコーディネーター
有限会社アルコシステム

〒277-0005 千葉県柏市柏4-11-17 イワダテビル

TEL:04-7169-7050 FAX:04-7169-1470

HP: <https://www.arco-system.co.jp>

E-mail: mail@arco-system.co.jp

CAT : ARCOANIHW202005A